

第12回エコアクション21 全国交流研修大会 in 福岡の開催

一般財団法人九州環境管理協会公益活動推進センター
 エコアクション21 地域事務局 ECO-KEEA 九環協主任研究員 中嶋 美香子

1. はじめに

エコアクション21 全国交流研修大会は、エコアクション21に取り組む事業者に対して審査及び支援・助言を行うエコアクション21 審査人の力量向上を図るとともに、エコアクション21 制度の普及促進と発展を目指して、全国の審査人及び地域事務局を対象とした研修及び交流のために年1回開催されるものです。

平成29年度は10月20日(金)～21日(土)にヒルトン福岡シーホークを会場とし、エコアクション21 審査人及び地域事務局の関係者ら364人が全国から参加して開催されました。

今回の大会はエコアクション21 地域事務局 ECO-KEEA 九環協が中心となって企画・運営しました。ここでは、本大会の概要について報告します。



大会開会式の様子

2. 大会テーマ

大会を地元福岡で開催するにあたり、事前に実行委員会(実行委員長:北九州市立大学 二渡了教授)を組織し、運営部会と企画部会における入念な準備を経て、大会当日に臨みました。

本大会は、エコアクション21 ガイドライン 2017年版(以下、新ガイドライン)の施行に向けて、改訂の趣旨を

参加者が十分に理解することが大きな目的であり、事業者への適切な支援、助言に向け、審査人の力量向上の準備をしなければならない時期と重なったことから、大会テーマは「時代の要請に応え、進化するエコアクション21」～2017年版ガイドラインをフル活用しよう!～に決定しました。

3. 大会プログラム

大会は2日間にわたって開催されました。大会1日目は、福岡大学名誉教授の浅野直人氏より基調講演をいただき、次に新ガイドラインの要点について中央事務局参与の黒柳要次氏より研修講義をしていただきました。その後、各分科会に分かれて、ガイドライン改訂のポイントを踏まえて、新ガイドラインをフル活用するための知識・スキルを習得するための研修を実施しました。

大会プログラム

月/日	項目	内容	対応者
1日目 10/20 (金)	開会式	実行委員長挨拶、来賓挨拶等	実行委員会事務局
	基調講演	「今後の環境政策の方向-第五次環境基本計画、長期低炭素ビジョンなどを踏まえて-」	福岡大学名誉教授 浅野直人氏
	研修講演	「エコアクション21ガイドライン2017年版の要点と応用」	EA21中央事務局参与 黒柳要次氏
	分科会概要説明		企画部会長
	分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1分科会 (新ガイドラインにおける審査及び指導助言はどうあるべきか) ・第2分科会 (経営者視点のエコアクション21) ・第3分科会 (環境活動レポートから環境経営レポートへ) ・第4分科会 (新EA21制度の普及促進と発展) 	各分科会責任者 EA21審査人及び地域事務局
	交流会		
2日目 10/21 (土)	分科会結果発表		各分科会責任者
	環境省講演	「環境政策の動向とエコアクション21」	環境省環境経済課 課長補佐 菅生直美氏
	パネルディスカッション	「新ガイドラインの有効な展開を目指して」	【コーディネーター】 (一財)持続性推進機構 理事長 安井至氏 【パネリスト】 環境省:奥山祐矢氏 福岡県:野中正浩氏 横浜国立大学教授 八木裕之氏 EA21審査人:宮寺健氏
	大会総括	大会総評、運営事務局御礼	EA21中央事務局 事務局長 森下研氏
	大会引継ぎ、閉会	福岡大会事務局 → 東京大会事務局	EA21地域事務局 東京中央 ECO-KEEA九環協

大会 2 日目は、各分科会責任者が分科会結果を発表し、その成果を共有しました。次に、環境省の菅生直美氏より「環境政策の動向とエコアクション 21」と題した講演をいただいたのち、「新ガイドラインの有効な展開を目指して」と題して有識者によるパネルディスカッションを行いました。コーディネーターは、一般財団法人持続性推進機構の安井至理事長が務め、エコアクション 21 の政策推進に関わる方々にパネリストとして参加いただき、有意義な議論が交わされました。

4. 分科会の概要

福岡県及び九州在住の審査人に協力を仰ぎ、企画部会に4つの分科会を設け、企画部会長及び分科会責任者を中心に各分科会のテーマ、討議すべき内容を絞り込みました。さらに、大会の参加者に対して事前アンケートを実施し、その結果を取りまとめた上で大会当日を迎えました。

分科会では 10 人程度のグループに分かれてCBS (Card Brain Storming) によるディスカッションを行い、参加者全員の意見やアイデアを集め、議論した結果を各グループで発表し、成果を参加者全員で共有しました。

(1) 第1分科会

【テーマ:新ガイドラインにおける審査はどうあるべきか】

新ガイドラインの改訂の趣旨を有効なものとするため、新たな視点で考え、原点に返って中小企業にとって環境と経営を融合した審査はどうあるべきかについて討議しました。

(2) 第2分科会

【テーマ:経営者視点のエコアクション 21】

中小企業にとって優先度の高い企業価値の要素を特定し、これを向上させることが事業継続に繋がるとして、EA21 を通して顧客満足度や経営効率の向上、技術力の維持のための方策について討議しました。

(3) 第3分科会

【テーマ:環境活動レポートから環境経営レポートへ】

経営に貢献し、経営者が自信を持って公表できるレポートとはどうあるべきか、さらにレポートを事業展開に

繋げるためのコミュニケーションツールとして有効に活用するにはどういう仕組み・手段を取るべきかについて討議しました。

(4) 第4分科会

【テーマ:新 EA21 制度の普及促進と発展】

認証・登録事業者数は 8,000 件を目前に頭打ち状態です。これから登録事業者数 30,000 件を目標に、新規事業者の獲得と返上事業者の抑制をテーマに、新EA21 制度の普及促進活動とその発展性について討議しました。



第1分科会の様子

5. おわりに

大会終了後、参加者からは「ガイドライン改訂の主旨について多くの意見を聞き、議論することで理解が深まった。」「分科会での討議は有意義であった。」「他の地区の審査人の意見が参考になり、啓発されることも多くあった。」といった開催意義を反映したご意見をいただきました。また、中央事務局からも、本大会全体の企画・運営に対して高い評価をいただきました。

最後に、ご講演いただきました講師の方々、ご後援をいただきました環境省、福岡県、北九州市、福岡市、久留米市、大会運営にご協力いただきました NPO 法人九州環境カウンセラー協会、一般社団法人福岡県中小企業家同友会、そして本大会にご参加いただきました全国のエコアクション21審査人、地域事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。